

新型コロナワクチン接種が始まります

町では、ワクチンの供給状況に合わせて接種を開始し、町民の皆さんが円滑に接種できるよう準備を進めています。4月16日現在の状況を掲載しています。65歳以上の人は接種券と同封の書類をご確認ください。

新型コロナワクチン接種の流れ

※予約方法、個別接種会場の詳細については、接種券に同封する案内をご覧ください。

町から接種券が届く

- 65歳以上 4月12日に発送済み。
 - 64歳以下 6月以降に発送予定。
- ※同封物：予約方法と注意点、予診票2枚、ワクチンの説明書

接種の予約をする

コールセンターまたはWEBにより予約できます。
※予約には接種券が必要です。
※1回目の接種後に2回目の予約ができます。

予約した医療機関で
接種する

新型コロナワクチンは、上腕に行う筋肉注射であるため、肩（上腕）を出しやすい服装でお越しください。

高齢者施設に入所、または入院中の人は、施設や医療機関にお問い合わせください。

ワクチンの効果について

感染予防

接種した人が感染しない

発症しない感染者が多数存在する新型コロナでは、実証が難しい

発症予防

発症者が減少する
(ファイザー社ワクチンでの有効性は95%)

重症化予防

重症患者が減少する

新型コロナワクチンで有効とされている効果
(効果の持続期間については調査中)

※ 2021(令和3)年2月15日「第19回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料1」より文章を抜粋

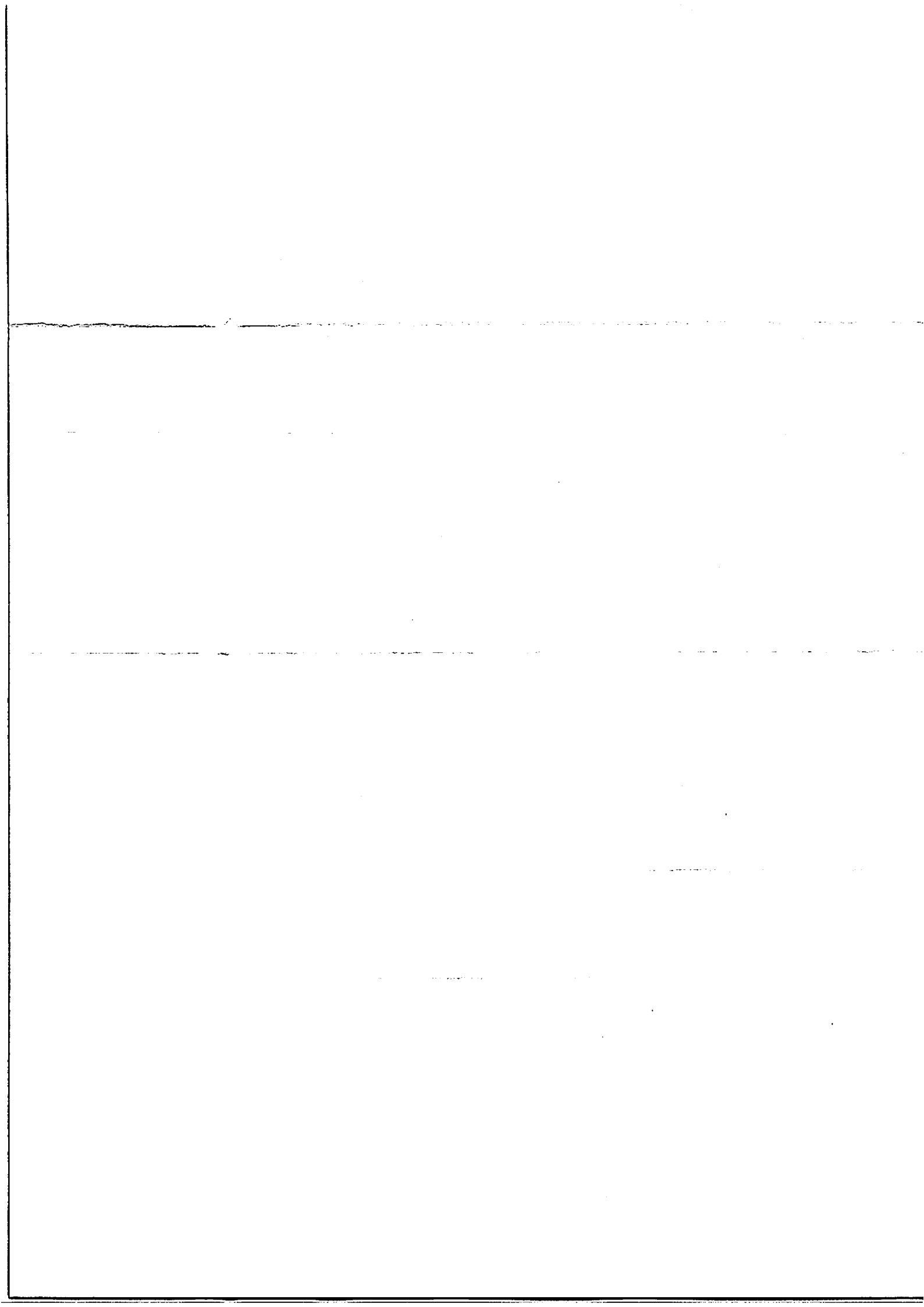
ワクチン接種後も、マスクの着用など感染予防対策の継続をお願いします。

太子町新型コロナワクチンコールセンター

- 電話番号 240-7955
- 対応時間 8時30分～17時30分(土日祝除く)
- 対応業務 接種に関する問い合わせ、予約

兵庫県新型コロナワクチン専門相談窓口

- 電話番号 078-361-1779
- 対応時間 9時～17時30分(平日・土日祝)
- 対応業務 接種後の副反応など、医学的知見が必要となる専門的な相談



令和3年2月19日



首相官邸
Prime Minister's Office of Japan



厚生労働省



新型コロナワクチンについて 皆さまに知ってほしいこと

～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～



新型コロナワクチンは、発症を防ぐ効果が認められています。

今回新たに承認された新型コロナワクチンは2回の接種によって、95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐ効果が認められています。(※インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%)



新型コロナワクチンは、あなたご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。このウイルスの感染により、令和3年1月末までに6千人以上の方が亡くなり、3万人以上の方が入院されています。特效薬も開発中の段階です。

こうした中で、多くの方に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。



どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります。

一般的にワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほどの副反応は、極めて稀ではあるものの、ゼロではありません。(予防接種による健康被害は救済制度の対象です。)

今回新たに承認されたワクチンの国内治験では、ワクチンを2回接種後に、接種部位の痛みは約80%に、37.5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の方に認められています。

ワクチンに含まれる成分に対する急性のアレルギ―反応であるアナフィラキシーの発生頻度は、市販後米国で100万人に5人程度と報告されています。日本での接種では、ワクチン接種後15～30分経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行います。

新型コロナワクチンについて皆さまに知ってほしいこと

～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～



新型コロナワクチンの承認後も、継続的に安全性を確認します。

アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家が評価します。こうした報告の中には、ワクチン接種後の持病悪化・死亡のように、ワクチンとの因果関係が直ちに評価できない事例も含まれますが、幅広く収集し、評価を行うこととしています。

加えて、1～2万人の先行接種者を含め、延べ約300万人の方々について、ワクチン接種後の症状等の調査を予定しています。

このように、ワクチンの安全性を継続して確認し、安全性に関する情報を提供していきます。



新型コロナワクチンの接種には、優先順位があります。

全国民に提供できるワクチンの数量を確保することを目指しています。しかしながら、ワクチンの調達が段階的にならざるを得ないことから、まず、重症化リスクの高い方から順に接種することで、重症者や死亡者を減らすことを優先します。また、新型コロナウイルス感染症患者に対する医療提供体制を守ることも不可欠です。

このため、①新型コロナウイルス感染症患者等に直接医療を提供する医療従事者等、②65歳以上の高齢者、③基礎疾患を有する方や高齢者施設等において利用者に直接接する職員、の順で接種をしていく方針です。その後、16歳以上の一般の方に、順次接種が行われます。



新型コロナワクチンは、誰もが全額公費(無料)で受けることができるようにします。

外国人も含め、接種の対象となるすべての住民に全額公費で接種を行う見込みです。接種の時期が近づいたら、市町村から、接種のお知らせや接種券をお送りする予定です。

65才↑ 4月中旬



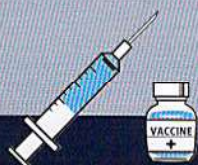
ワクチンについて、正しく知ったうえで、判断しましょう。

新型コロナワクチンを承認し、接種をお勧めするにあたって、国内外の数万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応といったデメリットより大きいことを確認しています。国民の皆さまが納得して判断をしていただけるよう、国としても情報提供に努めてまいります。



新型コロナワクチン 接種のお知らせ

接種費用
無料
(全額公費)



ワクチン接種までの流れ

1 接種可能な時期を確認する

新型コロナワクチンは、**医療従事者等、高齢者、基礎疾患のある方**等から順次接種を開始する予定です。ご自身の接種の順番をご確認いただき、順番が来るまでお待ちください。

※国からの発表をお待ちください。厚生労働省のホームページやお住まいの市町村の相談窓口でもご確認いただけます。

※高齢者や基礎疾患のある方の範囲は裏面をご覧ください。

※少しお待ちいただく可能性はありますが、接種を希望されるすべての方が接種できるように、ワクチンは順次供給されます。安心してお待ちください。

2 医療機関/接種会場を探す

市町村からの広報やインターネットで、ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場を探しましょう。



詳しくは右の **接種総合案内サイト「コロナワクチンナビ」**をご確認ください。

「コロナワクチンナビ」サイトアドレス: <https://v-sys.mhlw.go.jp>

※医療機関や接種会場を探すことができない場合は、お住まいの市町村にお問い合わせすることができます。

※入院中・入所中の方等を除き、ワクチンは住民票のある市町村（住所地）で受けます。

住所地以外でのワクチン接種については、裏面をご覧ください。

※コロナワクチンナビで直接予約をすることはできません。



「コロナワクチンナビ」
二次元コード

3 予約して、ワクチンを受ける

接種時期、接種会場、当日の持ち物などについては、お住まいの自治体の案内に従ってください。

※接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した市町村の窓口や医療機関にご連絡ください。

※肩を出しやすい服装でお越しください。

※ワクチンの効果を十分得るために、同じ種類のワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。

1回目を受けた際、次回接種がいつから可能なのかご確認ください。

※同封されたクーポン券は、2回分の「接種券」や「予防接種済証」が1枚になっています。毎回、切りはなさず台紙ごとお持ちください。



◎ 高齢者の接種開始

令和3年度中に65歳に達する方（昭和32年4月1日以前に生まれた方）から接種を予定していますが、そのなかでさらに時期を分けることもあります。

◎ 基礎疾患のある方とは

基礎疾患のある方は、高齢者の次に接種が開始される予定です。基礎疾患のある方とは、次のいずれかにあてはまる方です（令和3年2月1日時点の案であり、変更となる可能性があります。）。

1. 以下の病気や状態の方で、通院/入院している方

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. 慢性の呼吸器の病気 | 7. 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。） |
| 2. 慢性の心臓病（高血圧を含む。） | 8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている |
| 3. 慢性の腎臓病 | 9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患 |
| 4. 慢性の肝臓病（ただし、脂肪肝や慢性肝炎を除く。） | 10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等） |
| 5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病
又は他の病気を併発している糖尿病 | 11. 染色体異常 |
| 6. 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。） | 12. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態） |
| | 13. 睡眠時無呼吸症候群 |

2. 基準（BMI 30以上）を満たす肥満の方

※ BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

※ BMI 30の目安：身長170cmで体重87kg、身長160cmで体重77kg

なお、同じ時期に、高齢者施設等の従事者への接種も開始される予定です。

◎ 住民票がある場所（住所地）以外での接種について

- ・ 入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受ける方 → 医療機関や施設でご相談ください。
- ・ 基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方 → 医療機関でご相談ください。
- ・ お住まいが住所地と異なる方 → 実際に住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。コロナワクチンナビでご確認いただくか、実際に住まいの市町村の相談窓口にお問い合わせください。

◎ ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です

現在、何かの病気で治療中の方や、体調など接種に不安がある方は、かかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを受けるかどうかお考えください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、首相官邸ワクチン特設ページをご覧ください。

官邸 コロナ ワクチン 検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

お問い合わせ先

お住まいの自治体のワクチン接種担当窓口にてご確認ください。